

2010千葉地本「旅のプレゼント」

自然を感じころふれあう



千葉地本は10月9日（土）に第19回目となる「列車の旅のプレゼント」を開催しました。心や体にハンディキャップを持つ子供たちや家族58組121名を招待し、介護スタッフや現地スタッフを合わせ、総勢300名で参加しました。

千葉駅から臨時列車「ふれあい号」に乗車し、内浦山県民の森へ向け出発しました。車内では車両ごとに楽しいイベントを行い、列車での旅を楽しみました。



内浦山県民の森でのイベントはあいにくの雨のため体育館の中での開催でしたが、輪投げやストラックアウトで体を動かしたり、鉄道模型を見たりミニ新幹線の乗車しスタッフと共に元気よく遊びました。



心や体にハンディキャップを持つ子供たちと1日ふれあうことを通して様々なことを感じる事ができました。千葉地本は抵抗とヒューマンイズムの精神でこれからも運動していきます。